

市民まるごと赤い電車応援団  
**応援メッセージ号と  
 アイデア箱**



**応援メッセージ号**

この市民まるごと赤い電車応援団応援メッセージ号は、皆さんの応援メッセージを掲載したメッセージボードを、幡豆町、吉良町、西尾市へリレーし、2市2町の沿線市町の気運を盛り上げたいと思い企画しました。

1両目は蒲郡市、2両目は幡豆町、3両目は吉良町、4両目は西尾市の皆さんから応援メッセージをいただきます。完成後は企業などに展示する予定です。

**アイデア箱**

また、皆さんから利用促進のアイデアを募集するため「アイデア箱」を企画しました。実現が可能であるか、不可能であるかなど関係なく、幅広くアイデアを募集しています。このアイデア箱は、市役所1階ロビーに設置してあります。また事務局(企画広報課)へメールを送っていただいても構いません。多数のご意見をお待ちしています。

✉ [kikaku@city.gamagori.lg.jp](mailto:kikaku@city.gamagori.lg.jp)

**趣意書**

名鉄西尾・蒲郡線の利用者数は年々減少し、名鉄存続への話し合いが行われています。

今、走っている赤い電車がなくなると想像してみましょう。赤い電車を利用して通学している学生を。高校受験の選択肢が少なくなる小中学生や園児たちを。また、いままで培ってきた地域の活力・文化は衰退し、魅力のないまちになってしまいます。

健康や環境に配慮した交通行動を実践してみましょう。健康のため、また環境のために名鉄やJRを利用しマイカーの利用を少し控えてみましょう。家から駅、駅から会社の道のりを自転車や徒歩にすると適度な運動になります。と同時にCO2削減につながります。

そこで、私たち蒲郡市民が、次世代のために、自分のこととして考えることができるか、しっかり話し合ってみましょう。

私たちは、皆さんとともに、蒲郡市民の総力で、名鉄西尾・蒲郡線を存続させるため、「市民まるごと赤い電車応援団」を結成しました。

皆さんが名鉄に乗車するという行動が、名鉄を存続していくために、今どうしても必要なのです。

私たち一人ひとりの力で、この蒲郡のまちに、赤い電車を残しましょう。

■ファイナーレは蒲郡あけほの幼稚園の鼓笛隊による  
 元気いっぱい演奏

市民まるごと赤い電車(名鉄西尾・蒲郡線)応援団結団式のファイナーレは、蒲郡あけほの幼稚園園児85人による鼓笛演奏で幕を閉じました。「僕たちの幼稚園は鹿島町にあり、毎日赤い電車を見ています。今日も赤い電車に乗ってきました。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、赤い電車をなくさないでよ。お願い!」という思いを乗せた演奏が披露されました。

演奏終了後、園児全員が「ほくらは、ずっと、あかいでんしゃおうえんだん、おー!」という元気な声で幕を閉じました。



蒲郡あけほの幼稚園の鼓笛隊

**これからがスタート**

この応援団結団式は、あくまで名鉄存続への第一歩です。応援団発起人をはじめ、これから一つひとつ名鉄の利用促進方法を皆さんに提案していきます。また、この活動の趣意をご理解いただき、共鳴していただける方は応援団事務局までご連絡ください。次の一歩、またその次の一歩につなげるため、皆さんのご協力をお願いします。